

なかよし杯の反省

R 4 . 8 . 2 7

「第 33 回なかよし杯大会」は大変お疲れ様でした。コロナ対策や熱中症対策を行いながらの大会でしたが、いかがだったでしょうか。今大会の反省を今後を生かしていきましょう。

【大会運営について】

- ・ 熱中症を心配しなければいけない時期ですが、来年度も対策をとりながら実施したい。(多良会場, 嬉野会場)
 - 来年度のなかよし杯も今年度同様、この時期に開催提案をさせていただきます。
- ・ 涼しかったけど、午後から暑かった。時間はよかった。(轟会場)
- ・ 試合間は、10 から 15 分間でちょうどよかった。連続でなければ、10 分間でいい。(轟会場)
- ・ B パートは、棄権チームが 2 チームあったので、当日の朝に臨時監督会議を開き、残りの 6 チームで抽選をやり直して行いました。また、予選終了後に昼食をとらず、全日程終了後(後片付けを含む)に昼食をとりました。暑くなる前に終わることができて理想的でした。(多良会場)
 - 今後も話し合いを行いながら臨機応変に対応していきましょう。
- ・ 昼食時間が早かった。(嬉野会場)
 - すみません。今回は熱中症対策として行いました。開始時刻を早めるのは、なかよし杯だけです。次大会からは通常に戻します。来年度のなかよし杯の運営については、よりよい方法をみんなで考えていきましょう。
- ・ 熱中症対策として、2 階ギャラリーのカーテンの開けるべきか、閉めるべきか。(嬉野会場)
 - 日光の当たり具合等を考慮しながら、対応していきましょう。閉めていても昼食時等に開けておく時間を作っていきます。
- ・ 試合会場は、鹿島小体育館・鹿島市民体育館・明倫小体育館がよい。(轟体育館)
 - 今回は、熱中症対策として、冷房が効く部屋(教室)が確保できる会場を選びました。いろいろな角度から考えて、よりよい方法を考えていきましょう。
- ・ 監督会議の決定事項を共通理解するために、朝の監督会議の前に各チーム保護者代表を出していただき「保護者会議」を行った。また、朝の監督会議も保護者会議も全員に紙資料を配布して行った。

【審判について】

- ・ ラインズマン近くでサーブを打つ時に、ライン延長線上ではなく、横に動く子がまだいた。その都度指導を入れた。(多良会場)
 - 各チームで指導の徹底をお願いします。
- ・ 主審は、ジャッジのシグナルをする前に、ジャッジをしたラインズマンをしっかりと見て欲しい。励ましの意味もあるが、ミスジャッジをしたり、ジャッジをしなかったりすることを見過ごすことなく指導ができる。(多良会場)
 - 見てあげてください。
- ・ メンバーチェンジは、ベンチからコートに入る選手がアタックラインの延長線上を過ぎて、副審に近づいた時に認められます。監督のシグナルや声かけは関係ありません。

【マナーや保護者応援について】

- ・ コート外にボール出た時に、ボールを取りに行く動作が鈍い。(嬉野会場) また、ボールを取ってもらった時の「ありがとうございました」の声が非常に小さい。(多良会場)
 - 基本的なことで、とっても大切なことです。各チームで指導をお願いします。